



# はは歯クラブだより



NO. 13

長崎市鳴見台小学校

学校歯科医 行成 哲弘



こんにちは！**医療法人 ゆきなり小児・矯正歯科**です。

今回は、不正咬合のひとつ上顎前突（じょうがくぜんとつ）について、2回に分けてお話しします。

指しゃぶりや、口をいつもポカンと開けているなどの悪い習慣がある場合は上の歯が出てくることをご存じですか。唇や頬、舌はそれぞれ別々に動いているようですが、調和を持って働いています。調和がとれた口の周りの筋肉（唇、頬、舌は筋肉でできています）はきれいな歯並びを保つのに必要です。その筋肉の中の唇がいつも開いていると上の前歯が舌によって押されて前に出てきます。歯が出てくるとなおさら口が閉じにくくなりますよね。



その1、顎自体の成長には問題がないのですが、上の前歯が外側に傾いて隙間が空いています。口で息をする習慣などがあり唇の周りの筋肉の発達が悪く上顎前突になっています。口が閉じにくくなっていますので簡単な矯正装置で歯の傾きを治し唇の筋肉を強化するトレーニングを行い治療します。

次回お話ししますが、程度がひどい場合や、遺伝が関係している場合などは時期をみて本格的な矯正装置（マルチブラケットシステム）を使って治療します。

かみ合わせに問題がある場合には専門医に相談するのが良いでしょう。複数の専門医の意見を聞くことも大切です。治療の方法、装置には色々な種類があります。上記の写真の装置以外でも治療は可能です。

詳しくは、ホームページをご覧ください。「ゆきなり」で検索すると簡単です。今までの「はは歯クラブだより」をホームページに掲載しています。

<日本小児歯科学会認定小児歯科専門医 行成哲弘>